

議 事 録

目 的	第5回尾鷲市総合計画審議会 全体協議
-----	--------------------

日 時	平成28年9月30日（金）20:05～20:40
-----	--------------------------

場 所	中央公民館3階 講堂
-----	------------

内 容	
-----	--

○出席者

委員：岩崎恭典委員（会長）、村瀬晃健委員（副会長）、石川郷子委員、大西正隆委員、北裏佳代委員、北村清陽委員、北村伸委員、佐々木康次委員、塩崎保夫委員、塩津史子委員、玉乃井耕二委員、塚原右巳委員、津村淳委員、中西加寿代委員、中村レイ委員、中森将人委員、長谷川陽委員、濱野薫久委員、堀内達也委員、松井純委員、南進委員、與谷公孝委員、若林正也委員

市：副市長、市民サービス課：濱田課長（第1部会）、福祉保健課：三鬼課長（第2部会）、水産商工食のまち課：野地課長（第3部会）、教育総務課：佐野課長（第4部会）、環境課：竹平課長（第5部会）、総務課：下村課長（第6部会）
市長公室：大和室長、岩本補佐、森下係長、中川係長、山本主査、濱口主任主事、高濱主事補

コンサル：(株)日本開発研究所三重：館部長

傍聴：1人

○欠席者

委員：今村澄子委員、岩本芳和委員、奥村玲子委員、加子勝巳委員、北村豪委員、田崎祐一委員、民部清宏委員

○議事

◆1. 開会

【会長あいさつ】

◆2. 議事

(1) 後期基本計画（中間案）及び今後のスケジュールについて

【事務局より資料説明】

【質疑応答】

委員：「611 計画的な行政運営」の中で「PDCA サイクルを構築し、実施しています」と書かれているが、第6次尾鷲市総合計画の基本構想では「PDS サイクルの構築」となっている。611の「現状と課題」の中の「PDCA サイクル」は、「PDS サイクル」の間違いではないのか。

事務局：事務局において、「PDCA」のほうが一般的でわかりやすいと判断し、修正を行った。

委員：文言を勝手に変えるのはおかしい。

委員：確かに「PDCA」という文言のほうが一般的である。

委員：現状としては「PDS サイクルを構築し、実施しています」とし、後期計画の取り組み方針として、新たに「PDCA サイクルを実施します」とするならわかる。前期計画の「PDS サイクル」から「PDCA サイクル」へと文言を置き換えるなら、それに至る経過をきちんと明記すべきである。

事務局：途中で文言を置き換えたことについては、事務局の説明不足であった。ただ、PDSにしても、PDCAにしても、やり方に大きな差異はないので、一般的な文言のほうを使わせていただいたということである。

委員：PDS と PDCA は、やり方がまったく違う。PDCA は、費用対効果などをしっかりチェックした上で次の行動につなげていくものであるのに対し、PDS は、計画を立て、実施して、それを評価するだけである。今後、後期計画を推進する中で PDCA を実施していくことは非常に良いことだと思うし、やっていかなければならないことだと思う。しかし、前期計画で「PDS サイクルの構築を図ります」と書き、それを推進してきたのであれば、現状には「PDS サイクルを実施しています」と書くべきである。もし、これまで PDCA サイクルを実施してきたというのなら、それに基づく5年間の評価をきちんと示すべきである。しかし、今回の施策の達成状況に対する評価は内部評価であり、課によっては個人が評価しているところもあれば、課全体で評価しているところもあり、評価の基準が一定ではない。そのような状況をもって PDCA を実施していると言うのはおかしい。PDCA においては、何においてチェックするかという基準が非常に重要である。もし、どうしても、「PDCA サイクルを構築し、実施しています」と書きたいのであれば、いつ、どのようなところで PDS から PDCA に変わったのかを明記すべきである。

委員：確かに、前期計画では、PDS で計画をコントロールしていきと書いてある。PDS では、PLAN を作って、それを基に予算編成をして、DO で予算を執行して、SEE で評価を行う。その評価は決算であり、成果を評価するものである。これに対し、PDCA では、CHECK をして、ACTION で次の PLAN につなげていく。PDS が成果を評価するのに対し、PDCA はそれぞれの事業をチェックしていくものであり、より細かくはなるが、成果に対する評価はややないがしろになる可能性がある。総合計画全体の評価ということから考えると、成果を評価するほうがよいのかもしれない。ただ、行政はどうしても施策よりも各課がもっている事業の遂行に目が行きがちであり、PDCA のほうが馴染みが良い。確かに、ご指摘のように、PDS から PDCA に置き換えたことに対する説明は必要である。それを計画書に入れるというのではなく、市役所の中で意思統一を図っておくということが必要である。

委員：13 ページの欄外に「シティプロモーション」の用語解説を入れているように、「PDCA サイクル」についても用語の説明を入れてもらいたい。

委員：本日頂戴したご意見は、修正できるところは修正をしてパブリックコメントにかけていきたいと思う。ほかにも、自分の部会以外の項目に対していろいろご意見があると思うので、それについては、パブリックコメントの中で一市民として意見を出していただければと思う。次回の審議会までには、パブリックコメントでのご意見も含め、修正をするということでご了解をいただきたい。

委員：前期計画の 98 ページをご覧くださいと、諮問書と答申書が載っている。前回の答申では、「なお、計画の推進にあたっては、下記事項に留意され、『共に創り 未来につなぐ 誇れるまち おわせ』の実現に最善を尽くされますよう要望します」として、「共に知恵を出し合いながら事業を実施すること」、「積極的な行財政改革に取り組むこと」、「施策の進捗を管理し、その結果を市民に公開すること」をぜひやってくださいと、付記して答申をしている。今回は、6月に市長から諮問書をいただいております、それに対する答申を11月11日に出す予定だが、今回の答申をするにあたり留意事項として言っておいたほうがよいと思うことがあれば、パブリックコメントの期間中に事務局のほうに出していただきたい。

委員：それは、委員として、書式で事務局に提出するのか。

委員：パブリックコメントと混同しないように、別の書式で出していきたい。

委員：それを踏まえて、会長がご判断されるのか。

委員：ご意見を踏まえ、各部会の議事録なども見ながら、事務局と相談をして、答申書の案を作成し、次回の審議会で皆さんにお示ししたいと考えている。

◆3. その他

(※特になし)

委員：なければこれで全体会を終了する。